

令和 6 年度第 1 回議会改革推進会議

1 日 時 令和 5 年 6 月 2 7 日（火）午後 1 時 3 0 分開会

午後 1 時 5 7 分閉会

2 場 所 議事堂第 3 委員会室

3 出席者 委員長 井上 学

委 員 永森直人、川島 国、藤井大輔、瀬川侑希、
庄司昌弘、井加田まり、火爪弘子、佐藤則寿

I T 活用検討委員会委員長 大門良輔

4 協議の経過概要

井上委員長 ただいまから令和 6 年度第 1 回の議会改革推進会議を開会いたします。

皆様方には、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日の会議には、武田委員、澤崎委員から欠席したい旨の連絡がありましたので、お知らせいたします。

この議会改革推進会議は、本県議会が議会改革に継続的に取り組むため、議会基本条例に基づき設置されたものでありまして、毎年度、議会改革に関する行動計画を策定し、その進捗状況を県民に公表することとされております。

会議の委員長は副議長が務めることとされており、私もこれまでの運営方針を引き継ぎ、委員各位の御協力を得ながら会議を運営していきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

本日は、I T 活用検討委員会の大門委員長にも出席をいただいております。ありがとうございます。

それでは、議事に入りたいと思います。

協議事項の 1 番目、令和 5 年度議会改革に関する行動計画の進捗状況についてであります。

本年２月26日の令和５年度第５回会議の後、山本議長、奥野前副議長が記者会見をされて、その時点での進捗状況を発表いたしました。

そこから時点修正した資料を本日皆様のお手元に配付しておりますので、事務局から説明をお願いいたします。

事務局（青山議事課長） それでは、事務局から御説明いたします。座って説明させていただきます。

資料の２ページ「進捗状況について（案）」を御覧いただければと思います。

先ほど委員長から御説明ありましたとおり、行動計画については毎年つくっております、５年度の行動計画につきましては、令和５年６月28日に策定しており、その行動計画の項目ごとに御説明いたします。

まず、２の「住民との情報共有の推進」の項目でございます。

この項目につきましては、令和５年７月にＴＯＹＡＭＡジャーナルVo1.3を発行いたしまして、公民館等に配架するとともに、県議会のホームページにデジタルブックとして掲載しておるところでございます。

また、県議会ホームページ及び広報紙をＰＲするため、インターネットによる広告配信を実施するとともに、ウェブアンケートの調査を行っております。

広告配信につきましては、令和５年７月４日から８月３日の１か月間にわたりまして、ＴｉｋＴｏｋ、ＹｏｕＴｕｂｅ、Ｇｏｏｇｌｅディスプレイ広告などの媒体を活用いたしまして配信をしております。約190万回の表示があり、そのうち、クリックが９万3,924回あったということでございます。

また、アンケート調査につきましては、令和５年７月４日から10月末まで行っております。195件の回答がございました。

その後、ＴＯＹＡＭＡジャーナルのデジタルブックへアクセス可

能な二次元コードを印刷したステッカーを制作いたしまして、全議員の皆様に配付したところでございます。

こうした取組を踏まえまして、参考のところに書いてありますが、日本地域情報コンテンツ大賞2023地方創生部門におきまして、優秀賞を受賞したということでございます。

最後の丸ですが、正副議長の主な活動をホームページに掲載いたしまして、議会の活動を積極的にPRしたところでございます。

次のページをお願いいたします。3の「主権者教育の推進と住民参加の取組」の項目でございます。

まず、主権者教育としまして、先ほど申し上げました議会広報紙TOYAMAジャーナルを県内高校生に配布したところでございます。

併せて、高校生に対して出前講座ということで、議員の先生方の御協力を頂きまして実施しているところでございます。令和5年度につきましては、高校3校と大学に初めて参りまして、高岡法科大学で行ったところでございます。

その次に、高校生とやま県議会や富山県青年議会などを活用いたしまして、意見交換会等を実施しているところでございます。

最後の丸になりますけれども、委員会による意見交換会ということで、令和5年12月21日、地方創生産業委員会で、富山大学芸術文化学部と学生と意見交換会を実施したところでございます。

次に4の「新たな機能強化の取組」でございます。

「(1) 議会におけるITの活用等」ですが、IT活用検討委員会におきまして、議会におけるIT活用について協議を行ってきているところでございます。

昨年度につきましては、令和6年2月定例会から本会議等でパーレス会議システムを導入し、3月にはDX研修会を開催したところでございます。

また、オンライン委員会の実装化に向けた取組ということで、議

会運営委員会をオンラインで開催したところでございます。

次の危機管理対応につきましては、資料 2 と併せて後ほど説明いたしますので、この場では割愛させていただきます。

次のページをお願いいたします。

「ハラスメントの防止」ということで、ハラスメント防止研修を令和 5 年 9 月 8 日に開催いたしました。

5 の「その他」ということで、3 点ございます。

「個人情報の取扱い」に関し、政務活動費収支報告書閲覧の際、住所・氏名の記載を求めないこととし、要綱を改正いたしまして、令和 6 年 4 月 1 日から施行しております。

また、陳情・請願の提出者の住所・氏名につきましても原則非公開といたしまして、会議資料の表記を見直し、令和 6 年 2 月定例会から実施しているところでございます。

次に、「議員の請負状況の公表」ということで、議員の請負の状況の公表に関する規程を制定いたしまして、昨年 10 月 1 日から施行しております。

3 点目は、「手続のオンライン化」でございます。

手続のオンライン化につきましては、会議規則及び委員会条例を改正して対応することといたしまして、令和 6 年 4 月 1 日から施行しております。

その中でも、請願・陳情に関しますオンライン手続については、取扱要領を整備し、現在、富山県電子申請サービスで取り扱えるように登録したところでございます。

以上が昨年度の取組になります。

事務局（酒井理事・事務局次長） それでは、引き続きまして、3 ページ、4、（2）の「危機管理対応」を御覧ください。

令和 5 年度では、災害に備えたメーリングテストや議場からの避難訓練を実施いたしました。

元日の能登半島地震を受けまして、1 月 4 日に代表者会議を開催

し、被災地議員等が持ち寄った情報を基に共有し、対策本部長に緊急要望いたしました。

年度内には、議員の皆さんにヘルメットなどを配備するとともに、地震を振り返ってアンケートを行いました。

それでは、この資料 2、5 ページのアンケート結果を御覧ください。

1 つ目、安否確認について。これは、県防災システムを活用した安否確認メールへの回答の結果です。「安否確認メールは届いたか」との問いに対して、回答のあった方のうち 2 人から「いいえ」という回答がありました。その理由につきましては、メールアドレスを変えたとのことで、既に修正いたしました。

その右、「安否確認メールに返信したか」との問いに対して、8 名の方から「いいえ」という回答がありましたが、避難所での支援活動や自ら避難していたことによるものでした。

次に、2 の地域での活動について、ほとんどの方が情報共有し、うち 9 割、27 名の方が、この中にもおられますが、自らの SNS で情報発信したり、代表者会議への報告など、何らかの形で情報提供いただきました。

次のページを御覧ください。

3 の代表者会議について、適切だったとの意見がある一方で、復旧・復興のステージに合わせて開催したほうがよかったとの意見もございました。執行部の負担も考慮して、各会派でも御検討いただきたいと思います。

4 の配備すべき装備品として、統一デザインの防災服やブーツ、装備品には水や食料、防災グッズなどの御意見がありました。議会あるいは個人として備えておくべきものを整理したいと考えております。

最後、5 のその他意見として、安否確認にはパソコン、スマホの両方があるとよい、アプリの活用を検討すべきなどの御意見を頂き

ました。

安否確認への回答につきましては、40名中30名で、全員からの回答がもし難しいようであれば、連絡体制の複線化の検討も必要でないかと思っております。現に、各会派のほうで利用されている連絡網や連絡ツール、そういったよいアイデアがあればまた教えていただきたいと思っております。皆さんの御意見も頂きながら、連絡体制を含め、年度内に危機管理マニュアルの見直しを行いたいと考えております。

井上委員長 ありがとうございます。

令和5年度の行動計画の進捗状況につきましては、今ほど事務局のほうから説明があったとおりであります。

冒頭に触れましたが、この進捗状況は議会基本条例に基づいて県民に公表することとされておりますので、この案のとおり公表することとしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

井上委員長 そうしましたら、御異議がないようでありますので、この案のとおり、公表することとしたいと思います。

なお、公表はこれまでどおり、議会のホームページへの掲載等によって行うことといたしたいと思います。

次に、協議事項の2番目、令和6年度議会改革に関する行動計画について、議題といたしたいと思います。

前年度の第5回議会改革推進会議において、令和5年度行動計画の実施結果・検討結果と併せて、今後の方向性について確認しまして、本年度の会議に引き継ぐこととしておりました。

これを踏まえまして、私のほうで考えてみました今年度の行動計画案のたたき台を資料3としてご提示しております。

行動計画案を事務局に朗読していただきます。お願いします。

事務局（青山議事課長）

〔資料3「議会改革に関する行動計画（案）」を朗読〕

井上委員長　ありがとうございます。

これが試案ですけども、1点補足したいのですが、3番の住民参加の取組のところで、私が個人的に思っていることですけども、県民に広く議会を理解してもらうために、常任委員会か特別委員会を、議事堂内だけじゃなくて、外へ出て開催できないかということを今考えています。これは全くまだ調整もしていないですけども、昨年も何か一部そういう議論があったともお聞きしておりますが、やはり県民の皆さんに広く、県議会ってこんなことをやっているんだなというのを知ってもらうにあたり、インターネットとかホームページで見ることが出来ますが、会議を議事堂ばかりじゃなくて実際に外へ出てやれないかなということです。

ただし、常任委員会だと録画配信していますので、外へ出るとなるとちょっと大変かなという気がして、可能性があるとしたら特別委員会かなという気がしています。

特別委員会だと今度は当局側の参加者が多くなるので、そこがちょっと気になる場所なので、できれば特別委員会の中でもテーマを絞ってとか、何かそんなやり方もできないかなということも考えておりますので、それも含めて、この行動計画案について皆さん方の御意見をお伺いしたいと思います。

各会派、順番にお願いいたします。

自民党さん、いかがでしょうか。

永森委員　全体については、このとおりでよろしいのではないかと
思っています。委員長の今の試案に対しても、いろいろとやることは非常に多いと思いますけども、反面、これまでやったことも何回かあると思います。どんなやり方が現実的なのかというところはちょっと議論すべきかなと思っています。

井上委員長　ありがとうございます。

新令和会さん。

庄司委員　全体としてはこれでよいと思いますが、先ほどの特別委員

会を外でやるという件ですけれども、3の主権者教育のところで、今、高校や大学でもやっていますけど、若い人とか一般向けにやるというのも一ついいんじゃないかなとは思っています。いろいろなテーマはあるかもしれないですけれども、特別委員会でちょっとハードルが高いのであれば、そういう機会も広げてやられたらどうかなと思いました。お願いします。

井上委員長 ありがとうございます。

立憲民主党さん。

井加田委員 全体の計画案についてはこれでいいと思います。よろしくお願いしたいと思います。

あと、今、委員長から申出のあった内容についてなんですけど、過去にいろいろ形を変えて、例えば視察の折に、その地域の方との懇談とか意見交換あるいはタウンミーティング的な要素も含んだようなことは少し試み的にやってきている経過がありますし、委員会を、インターネットで配信するというのもやっています。そんなことを切り分けると、委員会、特別委員会を議事堂外でということは、ちょっと、当局側の負担も大きいし、それが果たしていいのかどうかということもあると思います。従来やっていた視察の折にその関連の皆さんに来ていただいて意見交換するという形は、これは特別委員会でも委員会でもできる内容じゃないかなと思いますので、もう少しその辺は議論を進めていければなと思います。

井上委員長 ありがとうございます。

日本共産党さん。

火爪委員 行動計画の公表はこれでいいと思います。

委員長の提案についても、皆さんからいろいろコメントがあったと思います。新しい試みは積極的に考えていけばいいと思います。

こどもの未来対策特別委員会の開催の仕方について、この間いろいろもめては進み、もめては進みやっているんですけど、やはりよくその提案の趣旨が理解できて、事前に十分な意見交換の場を持ち

ながら結論に向けて検討していくという段取りが大事なんじゃないかと思うので、また心がけていきたいと思います。よろしくお願いします。

井上委員長　ありがとうございます。

公明党さん。

佐藤委員　今ほどの皆さんの意見と一緒に、まずこの案についてはおむね賛成でございます。

今、委員長の提案の件についても、また丁寧に、やはり委員会は皆さんおっしゃったように、ちょっとハードルが高い部分も当然あるかと思いますが、また住民参加とはどういうことなのかとか、またテーマをこうするからこういう方をという、そういったところをだんだん詰めていけば、もう少し具体的に、もしかしたら委員長がイメージされるようなことにもなるのかなと思います。ちょっと今、全体の一致はなかなか難しいのかなと思いました。またよろしくお願いします。

井上委員長　ありがとうございます。

それでは、試案につきましては皆さん御了承いただけたので、この令和6年度議会改革に関する行動計画は了承されたということで、よろしくお願いいたします。

私が後から申し上げたことについては、もうちょっと検討したいと思いますので、また皆さんの御意見を賜りますようお願いいたします。

今後、この行動計画に基づき議会改革に取り組んでいくことになります。全会派の御理解を得ながらしっかりと進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き御協力をお願いいたします。ありがとうございます。

なお、本日は承されました令和6年度の行動計画の中で実施することとした項目の詳細につきましては、私に御一任いただきたいと思います。

また、検討するとした項目につきましては、次回以降、この会議の中でまた議論を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

次に、報告事項ですが、広報編集委員会の取組につきまして、永森委員から報告をお願いいたします。

永森委員 広報編集委員長の武田議員が本日欠席ということですので、私のほうから代わって御報告させていただきます。

広報編集委員会では、今年の2月以降これまで2回開催をしております、令和6年度の活動やTOYAMAジャーナルの内容について協議しております。

TOYAMAジャーナルは今回で4回目の発行となっております、若い世代に読んでもらえるということ、また、先ほどからいろいろ議論がありますけれども、県議会への理解、関心を深めていただけるようにということで、いろいろと工夫をしてみたいと思っています。

今年度も夏休み前の7月上旬の発行を目指して作成をしております、様々な場所に配架したり、またSNSなども広く使いながらPRをしていきたいと思っています。

出前講座についても、今年度4回実施を計画しております、1回目は5月31日、高岡向陵高校で行うことにしております。現在、12名の議員の皆様にご参加をいただくことになっておりますけれども、引き続きまた御協力いただける方、お願いしたいと思います。

なお、最後になりますけれども、先ほど行動計画の中でも、議員と高校生との交流イベントということで計画をいたしておりますので、皆様方にも今後また積極的な参加をいただきたいと思いますし、また、これから広報編集委員会などの場で、武田委員長が中心になっていろいろと企画の内容を深めていくのだと思っていますので、そうした場でもまた積極的に御意見をいただければと思います。

井上委員長　ありがとうございます。

広報編集委員会の取組については、今ほど報告のあったとおりで
ございますけども、御意見、御質問等あればお受けしたいと思いま
すが、いかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

井上委員長　分かりました。

それでは、次に、ＩＴ活用検討委員会の取組について、大門議員
から報告をお願いいたします。

大門議員　ＩＴ活用検討委員会です。

ＩＴ活用検討委員会では、昨年度にＤＸ研修会を開催したりです
とか、今年度に入りまして、知事部局の山本行政デジタル化・生産
性向上課長をお招きしまして、勉強会などを開催してきました。

研修会や勉強会を通じまして、議会におけるＤＸという観点から、
今後、こういったことができるのかの検討を進めているところであ
ります。

また、議会ではこれまでも、こちらにありますタブレット端末や
ペーパーレス会議システムを導入しまして、ペーパーレス化を進め
てきました。こうした既存のシステムのさらなる有効活用を進めて
いくことも必要であると考えております。

こうしたことから、ＩＴ活用検討委員会では今年度、議会におけ
るＤＸの観点と、これまでの取組をベースとした観点からの二本立
てで進めていきたいと思っております。

井上委員長　ありがとうございます。

ＩＴ活用検討委員会の取組について今報告いただきましたが、何
か御質問、御意見等ありますでしょうか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

井上委員長　ありがとうございます。

それでは、最後になりますけども、次回のこの会議についてでご
ざいますが、これはまた別途、皆さん方に日程調整させていただき

たいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で本日の議事は終了いたしました。この際ほかに御意見等
はございますでしょうか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

井上委員長　ありがとうございます。

それでは、これをもって令和6年度第1回目の議会改革推進会議
を閉会させていただきたいと思います。

本日はお忙しい中ありがとうございました。お疲れさまでした。